

東北大 NiChe、南相馬市、浪江町三者連携協定における取組内容

1 自動運転関係

(1) 自動運転の実証

今年度 小型EV車両の導入、自動運転化の取組開始。

福島RTF閉鎖空間内および周辺での計測実験開始。

来年度 自動運転車の構築。浪江、南相馬の「公道実証」に向けた調整。

再来年度 公道実証の実施。持続モデル構築に向けた取組の実施。

(2) 他大学とも連携した自動運転の実証及び地域の自動運転の社会受容性の向上

東北大学と連携する様々な大学と連携し、浪江、南相馬で自動運転車両の公道実証を行っていただく。

2 東北大が保有するシーズ活用（EVバス、電気自動車等）・スマートモビリティ実証

(1) 東北大が保有するEVバス等を活用した、浪江、南相馬でスマートモビリティの実証

(2) EVバスを活用したエネルギーマネジメントの、市町のスマートコミュニティ事業等の施策との連携

3 産学官連携の推進

東北大が保有する蓄電池の技術等についての産学官連携

4 公共交通全般の最適配置への助言

バス、タクシー、小型モビリティの適正配置に向けた検討、自動運転化

5 人材育成事業

EV、自動運転技術に係る人材育成

6 その他

(1) 南相馬市と浪江町は、平成29年度から東北大学未来科学技術共同研究センターが幹事を務める「東北次世代移動体システム技術実証コンソーシアム」に参加し、自動運転に係る連携を図ってきた。

(2) 南相馬市と浪江町では、平成31年3月27日に連携協議に係る覚書を締結しており、交通に係る事項や、福島ロボットテストフィールドの活用に係る事項等について、引き続き連携するものとする。